

オートパイロットシステムに関する検討会 設立趣旨

道路分野や自動車分野で研究開発・実用化が進んできた I T S は、交通事故の削減や渋滞の解消・緩和に貢献してきたところであるが、これらの問題の抜本的な解決を図るために、インフラと自動車の協調システムの実現など従来の I T S 技術をさらに高度化、融合させた次世代 I T S の導入が期待されている。

このような中で、国土交通省では、国土交通大臣政務官主宰の次世代 I T S に関する勉強会を開催し、次世代 I T S に関するニーズや技術的、制度的な課題等を分析し、新しい概念である高速道路の自動運転の実現に向けた取り組みに必要な検討を行い、とりまとめを行ったところである。

今般、このとりまとめを受け、高速道路上の自動運転を実現するシステム（オートパイロットシステム）について、その実現に向けた課題の整理・検討等を行うため、国土交通大臣政務官主宰の下、「オートパイロットシステムに関する検討会」を設置するものである。なお、検討会事務局は、道路局と自動車局に置くこととする。